

平成 22 年度社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 三役会 運営委員会)
(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会の開催

- 1 平成 22 年度第 1 回理事会 (平成 22 年 5 月 13 日開催)
 - ・ 平成 21 年度収支決算承認及び総会への付議承認
 - ・ 平成 22 年度収支予算 (案) の審議と総会への付議承認
 - ・ 役員交代と総会への付議承認
 - ・ その他報告
- 2 平成 22 年度臨時理事会 (平成 22 年 5 月 13 日開催)
 - ・ 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選任、承認
- 3 平成 22 年度第 2 回理事会 (平成 23 年 3 月 16 日開催)
 - ・ 平成 22 年度事業報告案及び収支決算見込み案の審議
 - ・ 平成 23 年度事業計画案及び事業予算案の審議
 - ・ 役員交代と総会への付議承認
 - ・ 公益法人制度改革対応案(定款変更案)の審議
 - ・ 第 15 回総会開催及び付議事項の審議

(2) 三役会

- 第 1 回 三役会 (平成 22 年 12 月 2 日 開催)
- 各専門委員会及びプロジェクトの活動状況報告
 - 公益法人制度改革への対応について
 - MIDI の国際標準化について
 - 今年度着地見込みについて

(3) 運営委員会

- 1 第 1 回公益法人制度改革対応 WG(平成 22 年 9 月 27 日開催)
 - ・ 申請までの課題の共有
- 2 第 2 回公益法人制度改革対応 WG(平成 22 年 11 月 9 日開催)
 - ・ 定款 (案) の検討
- 3 平成 22 年度運営委員会 (平成 23 年 2 月 18 日開催)
 - ・ 平成 22 年度事業報告が各委員会から報告、検討された。
 - ・ 平成 22 年度収支着地見込み (案) が事務局より提案、検討された。
 - ・ 平成 23 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案され検討された。
 - ・ 平成 23 年度事業計画案に基づき、平成 23 年度収支予算案が検討された。
 - ・ 公益法人制度改革対応 WG の研究発表及び対応方針が検討された。
 - ・ 平成 22 年度第 2 回理事会及び第 15 回通常総会の予定が案内された。

平成 22 年度社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)

(平成 22 年 4 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会(6回)、環境問題研究部会(6回)を実施した。

外部委員会(電波雑音専門部会、電気用品調査委員会、JEITA マルチメディア EMC 専門委員会、JBMA 第 108 委員会、電気製品認証協議会、グリーン調達調査 共通化協議会)に参加し情報収集に努めた。

- ・ 部会による情報収集及び提供を通じ、各社製品の安全及び環境問題への対処 活動に活かされた。

主な情報交換の要点は次の通り

〈安全規格〉

日本及び各国の規格動向調査

〈EMC〉

日本及び各国の規格動向調査

〈省エネルギー規制〉

AC アダプターへの米国省エネルギー規制公報からの報告

カナダ省エネ規制 NRCan の施行動向

〈環境関連規制〉

欧州 WEEE、RoHS 関連

欧州 REACH、ErP 関連

中国法規制関連

韓国法規制関連

米国 Lacey 法

カリフォルニア州ホルムアルデヒド規制

JGPSSI 関連

- ・ 製品安全自主依頼試験 1 回実施
- ・ エコマーク新規商品類型「楽器」の基準策定委員会動向の情報を共有した。

(2) MIDI 規格委員会

委員会 3 回、1.0 部会 2 回、技術研究部会 6 回、MMA 合同会議 1 回開催。

「MIDI 規格国際標準化について」

- ・ 経済的新興国の政府主導で独自の技術規格を作成し、自国内でのスタンダード 化ならびに国際標準化組織への提案活動により、独自の技術規格を国際標準と させることで既存のデファクト規格を排除し、国内企業の保護を優先する動き がある等、経済産業省より中国情勢の情報提供ならびに MIDI 規格に対する注

意喚起があった。

- ・ 同時に IEC と密接なつながりのある JEITA より MIDI 規格の国際標準化提案があった。
- ・ これらを受け、主要楽器メーカーの合意を確認し、MMA に提案。
- ・ IEC シアトル国際標準化会議への参加、NAMM にて AMEI/MMA トップ会談（岡部会長、近藤副会長）、MMA 総会にて MMA 会員へのプレゼンテーションの実施等、国際標準化団体への MIDI 規格登録の必要性と理解を求めた。MMA 会員の支持は得られたが、MMA 会長との合意には至らず協議中。
- ・ MIDI 国際標準化 WG 立ち上げの方向で進行中。
- ・ 2010 年夏より JEITA TA-10 対応（e-Book 標準化）グループの会合に毎月参加し、IEC 標準化動向の調査と、AMEI/MMA の状況報告。

「MIDI ロゴ検討」

- ・ TM（トレードマーク）WG にて中国での MIDI 商標登録の現状調査と商標登録の可能性について検討会を開催。調査続行中。

「MIDI1.0 部会」

7/15、12/22 の 2 回開催。その他随時 ML 上で審議。

以下の AMEI 3 提案とも MMA に提案し、MMA の VOTING にて承認された。

3 件とも RP の製本・サイン取り交わしの段階。

- ・ MMI Qwerty Mode Amendment (MMA TSB #201)
携帯端末の Qwerty 配列キーボードを用いて MIDI 演奏等を行う RP
- ・ MIDI Visual Control (MMA TSB #199)
MIDI を用いた演奏パフォーマンスと映像を結びつける RP
- ・ ISMC (MMA TSB #164)
SMF に埋め込む電子透かしに用いる楽曲管理コードの標準

「技術研究部会」

部会 6 回開催。MMA 合同会議 1 回開催。

- ・ シリアル通信以外の伝送路における MIDI の評価、検討。無線 MIDI 関連について調査を行い以下の文書を発行した。
 1. ワイヤレス MIDI 商品リスト（対応商品のアップデート）
 2. DSMI プロトコルについて
（フリーの Apple iPhone、任天堂 DS 用無線 MIDI ライブラリー）
- ・ HD プロトコルに関する技術リサーチ
MMA より送付されてきたプロトコル資料に対してレビューをおこない MMA への質問や意見を行うとともに、その過程で明らかにされた規格書には記載されていない点についての補足文章の文書化をおこなった。
- ・ 新技術/新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを模索した。

「その他」

- ・ シンセサイザーフェスタ 2010 参加
- ・ MMI プロジェクトリーダー交代（フェイス山本 様 退任 -> JVC 尾崎 様へ交代）
- ・ NAMM2011 ツアー実施

(3) MMI 推進プロジェクト

平成 22 年 11 月 18 日プロジェクトリーダー交代の為の引継ぎを実施。

MMI 推進プロジェクトは MMI 規格の QWERTY 対応の RP 化をもって終了。

(4) 著作権・ソフト委員会

- ・ 委員会定例会を通じて情報提供、意見交換、決議をおこなった。各部会はそれぞれのテーマ領域において活発な活動を展開した。
- ・ 「著作権等管理事業法」の法改正を求める請願書を文化庁に提出した。

1. 著作権・ソフト定例会 10 回 (詳細別紙)

2. カラオケ部会： 19 回

- ① JASRAC 協議含め部会 6 回
- ② カラオケコンテンツの違法配信利用対応検討 3 回
- ③ 著作権等管理事業法検討会(本年度新規開始) 3 回
- ④ 通信カラオケコンテンツを用いて製作した二次コンテンツの権利処理に関する勉強会 3 回
- ⑤ 新規管理事業者(日本音楽ソフト作詞作曲家協会)との使用料規程協議 4 回

3. 音楽配信部会 (NMRC を通じての活動) :34 回

- ① JASRAC との協議(最低使用料、遡及請求意見交換含む) 8 回
- ② 他管理事業者(イーライセンス社・JRC)との協議 13 回
- ③ 管理事業者との協議に向けての準備会 8 回
- ④ 実務 WG(JASRAC との「実績報告業務分析検討」含む) 0 回
- ⑤ 拡大実務 WG(MPA 他との協議含む) 3 回
- ⑥ 関連団体との意見交換会 (3つの WG)
電子出版関連 0 回、動画関連 2 回、教育・ゲーム関連 0 回

4. ソフト規格部会：8 回

- ① GCP-WG 6 回
- ② 「初音ミク現象から学ぼう」勉強会本年度新規開催 2 回
- ③ サウンドフォントに関する調査研究
- ④ 企業の著作物利用と日本版フェアユースについて検討

5. CDC(Copyright Data Clearinghouse)との連携

- ・ 2010 年 4 月より稼働開始。事務所を神保町に構える。千葉副委員長がエムティーアイより移籍。

- ・ 代表理事に佐々木隆一氏(NMRC 代表世話人)と菅原瑞夫氏(JASRAC 理事長)が就任
- ・ JASRAC が受け付けるネット配信実績レポートの 2 割弱を CDC がサポート

6. アーカイブ WG の設置

- ・ 平成 10 年頃の NMRC 発足前後から現在までの、権利ホルダーとの協議交渉活動の経緯を整理し、次世代に歴史を引き継ぐことを目的とする。
- ・ AMEI の過去の議事録、担当者へのインタビューを元に、少しずつ文書を起こしていく。

7. その他

1) 早稲田大学理工学部・AMEI 提携講座を開催(2010 年 10 月から 2011 年 1 月まで): 3 年目

- ・ 早稲田大学 創造理工 知財・産業社会政策領域(森康晃 教授)の 2010 年度後期講座を担当
- ・ AMEI から講師 2 名を派遣。JASRAC 国際部(1 コマ)も協力。
- ・ 講座名「アジアの視点から見たコンテンツ産業の基礎理論」。学部生約 20 名が受講。

2) CCD(デジタル時代の著作権協議会/Conference on Copyright for Digital millennium)

- ・ 権利問題研究会、権利ビジネス研究会に参画

【カラオケ部会】

1. JASRAC との「業務用通信カラオケの使用料規定改定」について協議した
2. 当協会のホームページにて「カラオケコンテンツの無許諾配信行為等について」という文書を掲載。投稿サイト等におけるカラオケコンテンツ(著作隣接権)の無許諾使用等に注意喚起を行なった。
3. 新規管理事業者、一般社団法人日本音楽ソフト作詞作曲協会と協議を行い、現状では当該団体は業務用通信カラオケ」の区分を管理除外とすることになった。

【音楽配信部会】

<NMRC を通じて>

1. JASRAC との協議および合意事項
 - ① 最低使用料の取り扱いについて (合意)
 - ② 歌詞後付けのサブスクリプションサービスの取り扱いについて (協議 5 回/合意)
 - ③ 音楽以外の著作物を主たる配信目的とする規程について (協議継続中)
2. イーライセンスとの協議
 - ① 最低使用料の取り扱いについて (継続協議中)

② 2期を超える遡及徴収の取り扱いについて申し入れ（イーライセンス経過説明文書を発行）

③ 歌詞後付けのサブスクリプションサービスの取り扱いについて（協議2回/合意）

3. JRC との協議

- ・ 歌詞後付けのサブスクリプションサービスの取り扱いについて（協議2回/合意）
- ・ 新使用料規定について協議開始（4月の規定改定は延期）

4. 会員に向けて実態調査アンケートを実施

- ・ 最低使用料の支払金額実態分析アンケート(27社より回答)
- ・ ストリームサイトのリクエストログ按分実態調査アンケート(10社より回答)

5. 大規模ストリーム配信サイトの使用料按分協議(4回：JRC、イーライセンス)

- ・ 2010年3月末を最終月として過去24ヶ月間分を合意。今後はCDCを活用見込み。

6. MPA/NMRC 標準フォーマット

- ・ リリース後の実施状況を調査
- ・ 映像コンテンツ配信許諾契約書の作成に着手
- ・ メタデータ管理項目の見直し検討を開始

【ソフト規格部会】

1. 「初音ミク現象から学ぼう」勉強会開催（会場：岩波セミナールーム）
2回開催

- ・ 第一回60名、第2回28名の参加

2. 下期（10月）より以下のテーマに従い調査研究を実施

- ① サウンドフォントに関する調査研究
- ② 企業の著作物利用と日本版フェアユースについて

3. GCP-WG（電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関するWG）

- ・ Yahoo!オークション等、Net上の不正使用の監視

4. DMN (Digital Music Notation)

- ・ ソフト規格部会としてAMEI参加メンバー企業とNMRCとの窓口業務を実施

●その他特記事項

1) 今年度部会長の交代

- ・ 音楽配信部会：千葉 部会長(エムティーアイからCDCに移籍)→堀江 部会長(前副部会長)
- ・ 音楽配信部会：桑田 副部会長→→板谷 副部会長

2) 新規WG

- ・ アーカイブWGを新規に設置。リーダーは高橋氏 (エムティーアイ)

平成 22 年度著作権・ソフト委員会実施内要

日時	主たるテーマ	備考
① 4月8日 (13:30~15:00)	1. 「最低使用料」協議及びアンケート実施について 2. CCD 関連報告 3. 各部長報告	
② 5月20日 (13:30~15:00)	1. 「最低使用料」について 2. 管理事業法への意見について 3. 各部長報告	
③ 6月10日 (13:30~15:00)	1. 「最低使用料」について 2. 管理事業法への意見について 3. 各部長報告	6/18 第 1 回「初音ミク現象から学ぼう」勉強会 60名の参加
④ 7月8日 (13:30~15:00)	1. JASRAC 協議報告（最低使用料取り扱い合意） 2. 外国曲の可視的利用について 3. 各部長報告	7/16 第 2 回「初音ミク現象から学ぼう」勉強会に 30名の参加。
⑤ 9月9日 (13:30~15:00)	1. イーライセンス、最低使用料協議及び遡及の件 2. 文化庁訪問報告 3. CDC 関連報告 4. 各部長報告	7/29「著作権等管理事業法の法改正を求める請願書」 文化庁へ提出。
⑥ 10月14日 (13:30~15:00)	1. 最低使用料協議の件 2. 映像協議の件 3. CDC 関連報告 4.各部長報告	音楽配信部会長 千葉⇒堀江 アーカイブ WG 発足
⑦ 11月11日 (13:30~15:00)	1. 最低使用料/ストリーム按分報告 2. 日本音楽ソフト作詞作曲協会の件 3. IEC 関連報告 4.各部長報告	
⑧ 12月9日 (15:30~16:30)	1. 最低使用料に関する打ち合わせ報告（イーライセンス） 2. 映像料率 JASRAC 提案について 3. 日本音楽ソフト作詩作曲協会脅協議報告 4. 各部長報告、WG 進捗状況報告	忘年懇親会（参加 60 名）
⑨ 2月10日 (13:30~15:00)	1. 最低使用料に関する協議報告（イーライセンス） 2. 使用料規程改定に関わる協議報告(JRC) 3. 遡及請求に関する取り決めについての報告(イーライセンス) 4. 各部長報告、WG 進捗状況報告	
⑩ 3月10日 (13:30~15:00)	1. 最低使用料について 2. J A S R A C の遡及について 3. 各部長報告、WG 進捗状況報告	

(5) 透かし推進プロジェクト

平成 22 年度の活動

- ・ 幹事会：第 1 回 2011 年 2 月 18 日、プロジェクトミーティング第 1 回 2011 年 3 月 17 日。
 - ・ MMA との mail 交換による ISMC 規格 RP 化協議 2010 年 05 月 10 日から 2011 年 1 月まで。
 - ・ 会員企業からの相談受け、随時。
- 1) MIDIsign エンコーダの技術サポート継続
 - 2) ISMC 規格の RP 化を MMA に提案し協議。MMA は 2011 年 1 月、RP 化に合意。
 - 3) MIDI Sign と ISMC ライセンス契約を累計 7 社と契約中
 - 4) MMA と ISMC 規格の RP 承認手続き完了、プロジェクトは解散する。

(6) メディアコンテンツ委員会

- ・ 事業委員会に協力参加し、シンセフェスタイベントを分担担当した。
- ・ 「シンセフェスタイベント」：生録セミナー「良い音はこう録れ」を企画実施 実際の管楽器アンサンブルの生録体験をしながら、CD に焼くまでの録音テクニックなどを公開した。

(7) MIDI 検定委員会

MIDI 検定委員会 6 回開催

- ・ 21 年度 MIDI 検定試験の結果報告。22 年度試験の対策。
- ・ 22 年度筆記試験の応募状況と準備。22 年度実技試験準備。
- ・ 検討課題を協議し次年度計画に反映。

[22 年度 MIDI 検定試験]

- ・ MIDI 検定 3 級、2 級筆記試験を 12 月 5 日に実施。
- ・ MIDI 検定 1 級試験を 1 月 14 日より実施。
- ・ MIDI 検定 2 級実技試験を 2 月 19 日より実施。

[指導者認定講座]

- ・ 4 級、3 級、2 級指導者認定講座を東京、大阪計 6 回実施。

[MIDI 検定セミナー]

- ・ 10 月 9 日、10 日 Synthesizer Festa 2010 会場にて MIDI 検定セミナーを実施。MIDI 検定 1 級、2 級、3 級、4 級の各セミナーを 2 日間開催。受講者には好評。

[THE MIDI パンフレット]

- ・ Synthesizer Festa 2010 会場にて配布。会員企業 DAW ソフトに同梱。

[中国での検定試験実施]

- ・ 例年通り実施。

MIDI検定試験結果の推移(国内)

		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	累計
3級	実施日	第1回 1999 1/17	第2回 2000 1/23	第3回 2001 1/28	第4回 2001 12/16	第5回 2002 12/8	第6回 2003 12/7	第7回 2004 12/5	第8回 2005 12/4	第9回 2006 12/3	第10回 2007 12/2	第11回 2008 12/7	第12回 2009 12/6	第13回 2010 12/5	
	受験者数 (内学校)	2964 1275	2737 1591	2145 866	2009 1040	1871 904	1965 968	1742 917	1469 715	1275 659	1051 526	930 512	797 439	760 385	21715 10797
	合格者数	2413	1543	1536	1411	1342	1460	1233	1056	731	729	627	504	465	15050
	合格率	81.41%	56.38%	71.61%	70.23%	71.73%	74.30%	70.78%	71.89%	57.33%	69.36%	67.42%	63.24%	61.18%	69.31%
	実施日		第1回 2000 5/28	第2回 2001 1/13	第3回 2001 12/16	第4回 2002 12/8	第5回 2003 12/7	第6回 2004 12/5	第7回 2005 12/4	第8回 2006 12/3	第9回 2007 12/2	第10回 2008 12/7	第11回 2009 12/6	第12回 2010 12/5	
	受験者数 合格者数 合格率		979 350 35.75%	594 240 40.40%	587 290 49.40%	391 228 58.31%	470 292 62.13%	404 108 26.73%	429 189 44.06%	308 187 60.71%	247 162 65.59%	265 187 70.57%	172 87 50.58%	150 79 52.67%	4996 2399 48.02%
2級 1次	実施日		第1回 2000 7/11	第2回 2001 3/13	第3回 2002 2/9	第4回 2003 2/8	第5回 2004 2/14	第6回 2005 2/11	第7回 2006 2/11	第8回 2007 2/11	第9回 2008 2/16	第10回 2009 2/14~15 2/21~22 2/28~3/1	第11回 2010 2/20~21 2/27~28	第12回 2011 2/19~20 2/26~27	
	受験者数 合格者数 合格率		328 127 38.72%	295 64 21.69%	404 21 5.20%	391 171 43.73%	387 37 9.56%	234 97 41.45%	211 66 31.28%	202 74 36.63%	173 135 78.03%	165 109 66.06%	99 77 77.78%	76 48 63.16%	2965 1026 34.60%
	実施日												第1回 2010 1/15~25	第2回 2011 1/14~24	
	受験者数 合格者数 合格率												153 43 28.10%	76 17 22.37%	229 60 26.20%
	国内受験者合計	2964	4044	3034	3000	2653	2822	2380	2109	1785	1471	1360	1221	1062	29905

中国MIDI検定3級試験の推移

							平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	累計
3級	実施日						第1回 2004 12/5	第2回 2005 12/4	第3回 2006 12/3	第4回 2007 12/2	第5回 2008 12/7	第6回 2009 12/6	第7回 2010 12/5	
	試験会場						北京 蘭州 温州 鄭州 天津 (全国5会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 (全国7会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 青島 (全国8会場)	北京 瀋陽 杭州 無錫 成都 (全国5会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 無錫 成都 青島 (全国7会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 無錫 成都 青島 (全国7会場)	北京 上海 南京 杭州 広西 (全国5会場)	
	受験者数 合格者数 合格率						112 87 77.68%	252 223 88.49%	144 129 89.58%	128 123 96.09%	119 94 78.99%	103 89 86.41%	177 103 58.19%	1035 848 81.93%

(8) 事業委員会

- ・事業委員会 (6月3日、9月3日)
- ・シンセフェスタ出展社説明会 (6月15日)
- ・シンセフェスタ共催打ち合せ (8月6日)
- ・シンセフェスタ 2010 (10月9日～10日) 共催

MIDI 検定などセミナー・コンサート運営

「シンセフェスタ 2010 共催内容」

10月9日 (土)

- ① 「MIDI 検定 3 級紹介講座」 (11:00～11:40)
- ② 「MIDI 検定 2 級紹介講座」 (12:00～12:40)
- ③ 「MIDI 検定 2 級実技講座」 (13:00～13:40)
- ④ 「ミュージックメディア入門講座 2」 (12:00～12:40)
- ⑤ 「ボーカロイドと著作権」 (11:00～12:20)

10月10日 (日)

- ⑥ 「MIDI 検定 3 級紹介講座」 (11:00～11:40)
- ⑦ 「MIDI 検定 2 級紹介講座」 (12:00～12:40)
- ⑧ 「MIDI 検定 2 級実技講座」 (13:00～13:40)
- ⑨ 「MIDI 検定 1 級紹介講座」 (11:00～11:40)
- ⑩ 「ミュージックメディア入門講座 1」 (12:00～12:40)
- ⑪ 「ボーカロイドの仕組みと開発」 (11:00～12:20)

G1 コンサート運営一般 (両日)

(9) 広報委員会

編集会議 3回 開催

会報『AMEI News』発行 3回

◆ Vol.41 2010年 4月20日 発行

- ・ NAMM ビジネスツアー
- ・ MIDI 検定 1 級試験実施
- ・ CDC 著作権情報集中処理システム「Fluzo (フルゾ)」サービス開始
- ・ インタラクティブ配信「最低使用料」の見直し協議状況について
- ・ 「公益法人制度改革」について
- ・ AMEI 会員名簿
- ・ 第14回通常総会と懇親会開催のお知らせ 等

◆ Vol.42 2010年 7月10日 発行

- ・ 第14回通常総会報告・新任役員挨拶・組織図・役員名簿
- ・ 平成22年度事業計画 (委員会活動)
- ・ 著作権・ソフト委員会報告「初音ミク現象から学ぼう」勉強会

- ・ 〈FLUZO〉システムレポート
- ・ 「最低使用料」協議報告
- ・ 「公益法人制度改革」について
- ・ AMEI 会員名簿
- ・ 第 14 回通常総会議事録の開示案内 等

◆ Vol.43 2011 年 1 月 8 日 発行

- ・ IEC(International Electrotechnical Commission
(国際電気標準会議) 報告
- ・ Synthesizer Festa 2010
- ・ 「Fluzo」の運用状況と今後の展開について
- ・ 著作権・ソフト委員会報告
- ・ 早稲田大学基幹理工学部講義
- ・ 製品安全・環境委員会報告
- ・ AMEI 会員名簿とお知らせ 等

「AMEI ホームページ運営」

- ・ AMEI について
- ・ 委員会からのお知らせ
- ・ AMEI NEWS
- ・ 仕様書ダウンロード
- ・ 会員専用ページ
- ・ What's new の更新
- ・ Information 等のメンテナンス (随時)

「セキュリティ強化」

- ・ WEB サーバーへ SSL (暗号化通信) の導入 (2010 年 9 月より)